

<平成 29 年度 議会報告会記録>

[日 時] 平成 29 年 11 月 28 日(火) 午後 6 時 30 分～

[会 場] 栄町コミュニティセンター

[参加者数] 11 名

[担 当 者] 3 班：◎岡本、○渋谷、黒岩、天日、本間、水間 (◎班長、○副班長)

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備 考
<p>(1)国民健康保険（健康づくり）について</p> <p>① 北海道で一括管理する事になると思うが、富良野は平均より保険料が高く下がると聞いている。他の市町村が健康への取り組みをして医療費を下げるように努力しているのに全道一律になると努力が無駄にならないか。健康への取り組みをしている市町村へのインセンティブが必要。ポイント制度とかシステムを考える必要がある。</p> <p>② 医療も福祉も市としてポイント制度を取り入れ市民の意識を高めることが必要。一部の人を利用するようなシステムではなく、医療福祉以外の分野でもポイントを使えるようにするなど広い観点で考えていった方が良い。</p> <p>③ 医療費の件で、持病で病院に通っていて薬がまだあるのに、同じ薬をもらってくる人もいると聞く。使わない薬は無駄な医療費なる。薬は買っている意識よりもらってる意識があることからそのようなことに繋がると思う。病院側が無駄な薬を処方しないような取り</p>	<p>(1)国民健康保険（健康づくり）について</p> <p>① 制度が変わっても健康づくりの取り組みは続ける必要がある。健康への取り組みを努力している市町村へのインセンティブは経過を見て国や道に意見していく必要があると思う。市民福祉委員会で道内の先進事例調査をした。12 月定例会で報告する予定。</p> <p>② 健康について取り組んでいる先進地域は言ったとおり様々なことや人が関わり合ったシステムになっている。視察を行った市民福祉委員会の報告を 12 月定例会で行う予定。</p> <p>③ 残薬問題については、市でも呼びかけは必要だが国としての取り組みも必要だと思う。薬手帳の活用や、処方時に自分で残薬を申告することも重要。</p>	

意見・要望・質疑事項など要旨	対応・回答の要旨	備考
<p>組みと、利用者の意識作りの取り組みが必要だと思う。</p>		
<p>(2) J Rについて</p> <p>① 市の動きを広報で随時市民へ伝えていく必要がある。8月に記事があったきり広報されていない。富良野沿線の動きも見えない。富良野は富良野線・根室本線を抱えるのもっと積極的に広報すべき。もっと世論形成をしていかなければならない。</p> <p>② 富良野市議会としてのJ Rに対する考えは。</p> <p>③ 知事が考える交通網の在り方が不明瞭。赤字が出るところは廃線と言っているが北海道すべての線区が赤字になっている。北海道は黒字になる採算がないので赤字でも線路を残す考え方でなければならない。</p>	<p>(2) J Rについて</p> <p>① 広報については意見として受け取る。富良野にとっては農業と観光にとって線路は維持すべきとの考え方。農産物輸送はトラック輸送への転換ではすべての量を運びきれず難しい。学生の通学手段、農産物輸送、観光にとって重要である。</p> <p>② 沿線議会での勉強会を開催した。また、議員個人で一般質問などで取り組んでいる。</p> <p>③ 意見として受け取る。</p>	
<p>(3)固形燃料ボイラーについて</p> <p>① ハイランドふらのの固形燃料ボイラーは韓国メーカーが作っていると聞いたが今はどうなっているのか。</p>	<p>(3)固形燃料ボイラーについて</p> <p>① 韓国メーカーのボイラーを利用している。修繕後はボイラーを稼働させているときいている。</p>	